

持続的成長を実現していくために、私たちは未来に向けて挑戦します

Sustainability



代表取締役社長 西田義則

創立60周年を迎えて

2021年6月15日、大成ロテックは創立60周年を迎えました。

これもひとえに多くの皆様のご支援とご愛顧の賜物と、心より感謝申し上げます。

これまでの長い道のりの中、当社は、「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する。」との企業理念を胸に、成長を遂げてまいりました。

これからも、当社は「世のため、人のため」の企業として歩みを止めることなく、皆様のご期待に応え、人の集う魅力ある企業として、未来に向かって持続的成長を遂げてまいります。

中期経営計画(2021-2023年度)の策定について

当社は、「中期経営計画(2021-2023年度)」を策定しました。新たな中期経営計画は、10年後のあるべき姿を実現するための3ヶ年計画と位置づけ、コンプライアンスを全ての事業活動の基軸として以下の取り組みを推進し、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

基本方針

- 「世のため、人のため」の企業として社会に対する責務を果たすために、企業・経営・行動の各理念に立ち寄り、コンプライアンスを基軸とした事業活動を進一層の精神で強力に推進していく。
- 「名実ともに業界No.1」への道程として、持続的成長を実現することで過去最高利益を更新し、スーパーゼネコン系道路会社で「No.1」となる。

重点施策

- 1 人材の獲得及び育成
「企業は人なり」の実践
- 2 本業の拡大
競争に打ち勝つための戦略
- 3 新規事業の収益化
早期の収益化とカーボンニュートラルに向けた取り組みの推進
- 4 技術開発の推進
将来への飛躍を目指し、夢のある技術の開発
- 5 安全・環境・品質の向上
社会からの信頼の獲得
- 6 グループ力の強化
最強のグループ構築

本業と新たな挑戦

現在、当社は、コンプライアンス遵守を事業活動の基軸とし、未来に向けて前進しています。

本業の「進化」と「深化」とともに、新たな挑戦への機運も高まり、本業である舗装土木の周辺事業としての建築事業、カーボンニュートラルに貢献する中小水力発電事業、中国およびベトナムを中心とした海外事業、そして脱炭素社会の実現に向けた新技術・新材料の開発など、新たな取り組みにも果敢に挑戦しています。

また、働き方改革を推進するためには生産性の向上が必須となることから、自動化・無人化の施工工法・機械の開発など、ICTを活用することで施工の効率化を図るとともに、三次元モデルを活用したBIM/CIMの促進により、生産現場におけるDXを進めてまいります。

その先の未来へ

新たに定めた「中期経営計画(2021~2023年度)」を確実に実行し、その目標達成に努め、「名実ともに業界No.1」を目指します。

10年、そしてその先の未来を見据えた成長の足掛かりとするため、大変革の時代であった明治の近代化に功績を残した創業者大倉喜八郎翁の「責任と信用」「進一層」を胸に役職員一丸となり持続的成長を遂げてまいります。